

## 2023年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
24401	医療保険制度 Medical Insurance System	木下 秀兆		専門	2	選択	1後期
<b>科目の概要</b>							
医療の世界は、IT、AIなど電子化が進んでいます。さらには医療技術の進歩も目覚ましいものがある中で医療事務に対する専門性と必要性は、医療機関で高く評価されています。医療保険制度のしくみを理解し、診療報酬請求事務に関する知識を修得し正確なレセプトを作成できる能力を身につける。また、人とのかかわりの中でコミュニケーション能力を養い、問題解決にさまざまな方向性から取り組み、職場と地域の中で問題を解決する力を育成する。							
<b>学修内容</b>				<b>到達目標</b>			
① 医療保険制度の概要（社保、国保、後期高齢者医療、公費負担制度、労災、介護）を学習する。 ② 医療事務の基礎知識（待遇、受付、会計、請求業務）を学ぶ。 ③ 診療行為ごとの診療報酬算定ルールを学習する。				① 医療保険制度の概要を理解し、医療保障制度の種類とその必要性、重要性を知ることができる。 ② 医療事務の基礎知識を習得し、職場や地域に必要とされる仕事であると知ることができる。 ③ 診療行為ごとの診療報酬算定ルールを理解し、問題解決しながら、正しく算定することができる。			
<b>学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素</b>		<b>学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例</b>					
前に踏み出す力	主体性	受け身の姿勢ではなく、自発的に学習に取り組むことができる。 他者に流されず、自分なりの行動と発言ができる。					
	働きかけ力	理解不足の項目について、どこが理解不足かを判断し、積極的に質問することができる。 相手に何を求めているかが理解できるように具体的な内容を質問することができる。					
	実行力	自分の力（知識）で点数算定をすることができる。 理解不足な部分を判断し、調べ、自分で考え、結論を出すことができる。					
考え抜く力	課題発見力	苦手な分野を自覚し問題点を解決するために行動を起こすことができる。 どこがどのように誤っていたのか理解するために、他社の意見を積極的に求めることができる。					
	計画力	計画性をもち、実施したことに対するの評価と見直しを常に行い、実行するための計画を作成することができる。 計画と実績の違いに慌てず、計画を練り直し、実行に移すことができる。					
	創造力	自分を取り組んでいることに好奇心をもち、いろいろな観点から物事をとらえることができる。 他者の意見を取り入れ自分とは異なる方面から物事を考えることで新しい解決策を見つけることができる。					
チームで働く力	発信力	相手に理解してもらえよう、どう話したら相手に伝わるかを考え、話し方を工夫することができる。 聞き手が求めるものが何かを理解し、相手に伝えることができる。					
	傾聴力	自分の理解・解釈が正しいことが確かでない場合は、そのままにせず確認することができる。 他者の意見を素直に聞くことができる。 相槌やアイコンタクトをとることにより、自分も相手も話しやすい環境を作ることができる。					
	柔軟性	人との違いを受け入れ、理解することができる。 いろいろな方面から考えることで、答えが1つではないことに気づくことができる。					
	状況把握力	自分はどの位置にいるのかを把握し、自分の目標に向かって足りない部分を強化することができる。					
	規律性	遅刻、無断欠席をせず、授業が円滑に進行するようにルールを守ることができる。					
	ストレスコントロール力	間違えることを怖がらずに、積極的に発言することができる。					
<b>テキスト及び参考文献</b>							
テキスト：（財）日本病院管理教育協会指定テキスト							
<b>他科目との関連、資格との関連</b>							
他科目との関連：医療保険実務演習 資格との関連：医事管理士、医療管理秘書士							
<b>学修上の助言</b>				<b>受講生とのルール</b>			
基本的な項目から順序立てて積み重ねることになるため、学習内容を整理しておくこと。 復習が重要な位置づけとなるため、学習したことを再度見直し、復習を行うこと。				毎回の授業の積み重ねになるため、遅刻、欠席をしないこと。 わからないことは積極的に質問すること。 携帯電話の電源は切りカバンの中にしておくこと。 欠席した場合は、自主学習をし、理解不能なところは質問をし、理解できるように取り組むこと。			

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標				各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント		
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	60	①	✓			<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療保険制度の概要を理解している。</li> <li>・各項目の算定ルールを理解し、根拠に基づいて解答できている。</li> </ul> 上記二点の理解度を図る問題を作成し評価する。		
				②	✓					
				③	✓					
	学修成果	小テスト		30	①	✓			出題範囲は各時点までの授業で学習した内容とする。	
					②	✓				
					③	✓				
		平常評価	レポート		0	①				
						②				
						③				
平常評価		成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）		0	①					
					②					
					③					
学修行動	社会人基礎力（学修態度）		10	①	✓			<ul style="list-style-type: none"> <li>・遅刻、無断欠席など、学習意欲の欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようにルールを守ることができる。（規律性）</li> <li>・「あいづち」や「うなづき」など話を聞く姿勢ができています。（傾聴力）</li> <li>・高い評価を得られることを目標とし、自発的に取り組むことができます。（主体性）</li> <li>・自分の苦手分野を見つけ自覚することができる（課題発見力）</li> <li>・最後までやり抜くことができる（実行力）</li> <li>・固定観念にとらわれずいろいろな方向から考えることができる。（創造力）</li> <li>・自分の意見を他者に的確に述べるることができる。（発信力）</li> </ul>		
				②	✓					
				③	✓					
総合評価割合			100							

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
○S（秀）の目安：筆記試験において9割以上の点数を取得し、診療報酬の各項目すべてについて算定が正しくでき、医療保険制度のしくみと点数算定の方法を正しく説明することができる。 ○A（優）の目安：筆記試験において8割以上の点数を取得し、診療報酬の各項目すべてについて正しい算定ができ、医療保険制度のしくみと点数算定の方法について理解できている。	○B（良）の目安：筆記試験において7割以上の点数を取得し、診療報酬の各項目すべての所定点数を算定することができる。医療保険制度のしくみと各項目の区分を理解できている。 ○C（可）の目安：筆記試験において6割以上の点数を取得し、診療報酬の6割以上の項目について点数算定をすることができる。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	医療保障制度(1) 医療保険制度の体系を理解する。	講義 次回の授業内容と復習方法と予習について説明し、質疑応答の時間を設け、全体にフィードバックする。	医療保障制度のしくみについて説明できる。社保、国保、被保険者等の用語について説明できる。	(復習) テキストの図を理解する。 「メディカルシステム論」テキストP10、11、23~29 (予習) テキストを読んでくる。 「メディカルシステム論」P43~53 「診療報酬請求の実務 診療報酬請求演習」P2、3	180	傾聴力 規律性
2	医療保障制度(2) 医療保険制度の概要を理解する。	講義 授業の開始時に前回授業内容を口頭で確認、全体にフィードバックする。	医療保障制度の全体像について(給付の種類、給付割合、患者負担について)説明することができる。	(復習) テキストの図を理解する。 「メディカルシステム論」P43~53 「診療報酬請求の実務 診療報酬請求演習」P2、3 (予習) テキストを読んでくる。 「メディカルシステム論」P12~16 「診療報酬請求の実務 診療報酬演習」P4~8	180	傾聴力 規律性
3	医療事務の概要 医療事務の全体像を理解する。	講義 授業の開始時に前回授業内容を口頭で確認、全体にフィードバックする。	医療事務が医療機関でどのような役割を担っているのか重要性を理解し、説明することができる。	(復習) テキストの図を理解する。 「メディカルシステム論」P12~16 「診療報酬請求の実務 診療報酬演習」P4~8 (予習) 「診療報酬請求の実務 診療報酬演習」初診料・再診料の項目を読んでくる	180	傾聴力 規律性
4	初診・再診 診察料の基本を学習する。	講義 授業の開始時に前回授業内容を口頭で確認、全体にフィードバックする。	診察料の基礎的な点数算定ができる。	(復習) 診察料の算定ルールを復習する (予習) 「診療報酬請求の実務 診療報酬演習」医学管理・在宅の項目を読んでくる	180	傾聴力 規律性
5	医学管理・在宅 医学管理・在宅の基本を学習する。	講義 授業の開始時に前回授業内容を口頭で確認、全体にフィードバックする。	医学管理・在宅の基礎的な点数算定ができる。	(復習) 指導料の算定ルールを復習する (予習) 「診療報酬請求の実務 診療報酬演習」投薬の項目を読んでくる	180	傾聴力 規律性
6	投薬 投薬の基本を学習する。	講義 授業の開始時に前回授業内容を口頭で確認、全体にフィードバックする。	投薬の基礎的な点数算定ができる。	(復習) 投薬料の算定ルールを復習する (予習) 「診療報酬請求の実務 診療報酬演習」診察料から投薬までの項目を読んでくる。	180	傾聴力 規律性
7	投薬までのまとめ 前回までの理解を深める。	プリントによる算定練習 授業の開始時に前回授業内容を口頭で確認、全体にフィードバックする。	診察料~投薬の基礎的な点数算定ができる。	(復習) 今までの算定ルールを復習する (予習) 「診療報酬請求の実務 診療報酬演習」の注射料の項目を読んでくる	180	課題発見力 発信力
8	注射 注射の基本を学習する。	講義 授業の開始時に前回授業内容を口頭で確認、全体にフィードバックする。	注射の基礎的な点数算定ができる。	(復習) 注射の算定ルールを復習する (予習) 「診療報酬請求の実務 診療報酬演習」の投薬料から注射料までの項目を読んでくる。	180	傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	注射までのまとめ 前回までの理解を深める。	プリントによる算定練習 授業の開始時に前回授業内容を口頭で確認、全体にフィードバックする。	8回までの基本的事項が理解できていて点数算定ができる。	(復習) 出来なかった項目の再確認をする プリントを再度実施する (予習) 「診療報酬請求の実務 診療報酬演習」の処置料の項目を読んでくる	180	傾聴力 規律性
10	処置 処置の基本を学習する。	講義 授業の開始時に前回授業内容を口頭で確認、全体にフィードバックする。	処置の基礎的な点数算定ができる	(復習) 処置の算定ルールを復習する (予習) 「診療報酬請求の実務 診療報酬演習」の検査料の項目を読んでくる	180	傾聴力 規律性
11	検査 検査の基本を学習する。	講義 授業の開始時に前回授業内容を口頭で確認、全体にフィードバックする。	検査の基礎的な点数算定ができる	(復習) 検査の算定ルールを復習する (予習) 「診療報酬請求の実務 診療報酬演習」の投薬料から検査料までの項目を読んでくる。	180	傾聴力 規律性
12	検査までのまとめ 前回までの理解を深める。	プリントによる算定練習 授業の開始時に前回授業内容を口頭で確認、全体にフィードバックする。	11回までの基本的事項が理解できていて点数算定ができる。	(復習) 出来なかった項目の再確認をする。 プリントを再度実施する (予習) 「診療報酬請求の実務 診療報酬演習」の画像診断料の項目を読んでくる	180	実行力 規律性
13	画像診断 画像診断の基本を学習する。	講義 授業の開始時に前回授業内容を口頭で確認、全体にフィードバックする。	12回までの基本的事項が理解できていて点数算定ができる。	(復習) 処置の算定ルールを復習する (予習) 「診療報酬請求の実務 診療報酬演習」の処置料から画像診断料までの項目を読んでくる。	180	傾聴力 規律性
14	画像診断までのまとめ 前回までの理解を深める。	プリントによる算定練習 授業の開始時に前回授業内容を口頭で確認、全体にフィードバックする。	13回までの基本的事項が理解できていて点数算定ができる。	(復習) 出来なかった項目の再確認をする。 プリントを再度実施する。 (予習) 「診療報酬請求の実務 診療報酬演習」の診察料から画像診断料までの項目を読んでくる。	180	主体性 創造力
15	総復習 全体の理解を深める。	講義 授業の開始時に前回授業内容を口頭で確認、全体にフィードバックする。	全体の基礎的な点数算定ができる	(復習) 出来なかった項目の再確認をする	180	課題発見力 発信力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力